

広報 ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876)代 2100番
印刷所 湖東 印刷所 電話(018876) 2430番 一部 5円
郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行

生涯教育の調査についてお願い
本町生涯教育推進本部では、子どもからお年寄りまで、みなさんに満足いただける生涯教育をと願っている。いろいろ努力していますが、まだまだ満足できる段階にはいっていません。
そこで今回一家の柱であり、地域の中心になって活動されている30才・59才までの成人男子の方々へ日常生活のありさまや生活についての考え方をうかがって、今後の生涯教育のあり方を研究することにいたしました。
この趣旨をご理解の上、ぜひ調査にご協力くださるようお願いいたします。



3キロの道のりを歩く

去る9月17日、五城目幼稚園では「いいの森」へ、親と子のなべっこ遠足を行った。その日の空は、冷い秋の中でも晴れ時々曇りで、太陽もチラッ、チラッと顔をのぞかせる絶好の遠足日和。参加者は親と子で約260名、文字どおりの遠足で、幼稚園から3キロの道のりをエンヤコラサと歩き続けた。

お父さんも一緒、喜びの子どもたち

お母さんたちは到着するやいなや、早速自慢の鍋料理に取りかかる。子どもたちはその間、カモシカや鳥などの保護舎をめぐる大はしゃぎ。しかし、中には約束したはずのお父さんが、なかなか顔を見せないで心なしか顔の曇りがちな子も二、三人。それも食事を始める頃には、汗をふきふきお父さん連が到着。待ってた待ってた子どもたち、パット顔を明るくし、ホッ

秋晴れのもと 野にたわむれる 親と子のなべっこ遠足

った安ど感と喜びを体中にたぎらせ抱きつきながら迎える「お父さん今来たがア」「ごめん、ごめん遅くなってごめナ」親と子の愛情が通い合う瞬間である、何とも言われない美しさがただようものである。

森の静けさに包まれて

三三五五グループを作って親と子は熱い汗をフーフー言いながら食べ始める、食事をバクつく子どもたちの表情はいかにもおいしそうだ。安心し切った子等の顔、顔、親と一緒に時間が恋しいんだなあ、反面それだけみなさんは忙しいのだなあとも受けとれた。小高い丘から眺めると、森の静けさに包まれ野にたわむれる群像は誠に平和な光景であった。

人々に心の安らぎを与えてくれるいいの森の役目をかきまみれた感じも快かった。

冷害の暗い記録から

今年の夏は雨の多い寒い夏であった。農家は冷害を恐れおのいていたが、案の定六十三年ぶりの寒さとかで、まぎれもない冷害の年となつてしまつた。
本町の冷害対策本部が八月二十五日現在の作況調査では、平年に比較して五万俵八億円相当の減収を推定した。歴史はひもといてみる
冷害害の歴史は、ひとといてみると、遠く天明と天保年間の飢きんが今世紀最大として、歴史にその名をとどめていた。天明元年(一七八一)には、必要に迫られてか、浅草に天文台が初めて作られた。
翌二年が大凶作となり、佐竹領内の人口四十万の内十方は餓死したといわれる。以後九年まで凶作の状態が続くわけだが、餓死者を食べる犬や鶴、人まじしく地獄絵図さながらであつたと思われ。
当時の恋地村には戸数四十八戸あつた。この凶作では二百人が死亡し、三十四軒が潰れ、七割が全滅した悲しい記録が残っている。
そして昭和九年の冷害害による大凶作は、天明天保以来と言われているところ、娘たちの人身売買が行われ困られた大地から、白色奴隷が横行し県内の離村女性一万一千十八人を記録している。
秋田県は恩賜金五十万円を基礎に郷倉制を復活している。機手地方の農村部の若者たちが、街に立つて求人者を探してワカゼ市を出たのもこの頃である。現代の社会構造では想像も出来ないことである。過去のせいではないし、自然をあたるとのせいではないし、自ら、稲作技術の停滞は許されないことを警告しているようだ。



石井 藤子



吉藤 栄子



小川テツエ



須田 富子



千田 卓男



高橋兼太郎

秋の交通安全運動期間中は会員のトラックを借りて、五一中のプラバンドの応援を得て町内をまわり、交通安全キャンペーンである。

母の会結成して三年目

母の会：交通安全母の会を結成してから三年目になったけれども取りたてて言う程の活躍はしておらない。あれもこれもと気持ちあせるが、お母さん方が忙しいので思うようにいかないのが現状である。

交通事故による被害者、加害者ともになくして明るい町にしたかと思つて、非常に感じの良い例として、小学生たちが横断歩道を渡る時運転者に対して目礼する子どもがいる。これなどはちょっとしたことであるが、歩行者と運転者がお互いに心の和む一瞬でありまことに心にゆとりのある姿だと思つて、指導隊には下部組織がないので、母の会にもご協力をお願いして、せかせかせした運転ではなく、心にゆとりのある運転の実現に努力していきたい。

指導隊：街頭指導に当たって痛切に感ずることは、とにかく交通ルールが守られていないこと

活動資金がほしい

活動資金がほしい。何しろ貧乏世帯なので、商店を経営している会員にお願いして協賛店を作つて一万七千円程の資金を作つて不足分を補っているが、それでも不足なところは警察署の方からいくらか手伝つてもらつてやっていきたいと思つている。

子どもと老人を。事故から守りたい。母の会：あの場合、子どもと老人のみなさんに現場を踏まえての勉強していただく企画でしたが六十才以上も、三才の子どもも同じ内容でよいというような感じで受けとめてい。この後も交通安全に関するいろいろなチラシを作り、老人ホーム、いそ浦大学、幼稚園、保育園などを訪れて三十分ほど時間をいだけ、老人と子どもを交通安全から守るための活動をしていきたいと思つている。

その時会員のご主人たちからも十台車の協力をいただき、児童生徒の絵を窓に貼り交通安全を訴えていきたい。

守らない人が多い。交通安全に関するいろいろなチラシを作り、老人ホーム、いそ浦大学、幼稚園、保育園などを訪れて三十分ほど時間をいだけ、老人と子どもを交通安全から守るための活動をしていきたいと思つている。

交通安全に関する会議

交通安全に関する会議は、やはり母の会の拡大充実まではかりながら、これを徹底するのが最もよい方法であると思うその活動面が一番困るのは資金面だと思つて、これを行政の問題として取りあげ、援助してやってほしいものである。

交通安全に関する会議は、やはり母の会の拡大充実まではかりながら、これを徹底するのが最もよい方法であると思うその活動面が一番困るのは資金面だと思つて、これを行政の問題として取りあげ、援助してやってほしいものである。

交通安全に関する会議は、やはり母の会の拡大充実まではかりながら、これを徹底するのが最もよい方法であると思うその活動面が一番困るのは資金面だと思つて、これを行政の問題として取りあげ、援助してやってほしいものである。

交通安全に関する会議は、やはり母の会の拡大充実まではかりながら、これを徹底するのが最もよい方法であると思うその活動面が一番困るのは資金面だと思つて、これを行政の問題として取りあげ、援助してやってほしいものである。

事故発生情報

事故発生情報。広報に掲載せよ。母の会：井川町の場合は、有線放送で各町内毎に無事故競争をやつているそう、朝夕の食事時に各町内会母の事故発生状況を知らせるため町民には非常に関心を持たれ、仮に事故を起した場合でも町内会全体に相済まないという心情になるという具合で、町ぐるみで取り組んでいる様子がよくわかった。母の会もその点非常に活動し易いとおつた。五城目町の場合有線がないので、広報の片すみにも、町内で起きた交通事故の状況を知らせるようになって欲しい。

事故発生情報。広報に掲載せよ。母の会：井川町の場合は、有線放送で各町内毎に無事故競争をやつているそう、朝夕の食事時に各町内会母の事故発生状況を知らせるため町民には非常に関心を持たれ、仮に事故を起した場合でも町内会全体に相済まないという心情になるという具合で、町ぐるみで取り組んでいる様子がよくわかった。母の会もその点非常に活動し易いとおつた。五城目町の場合有線がないので、広報の片すみにも、町内で起きた交通事故の状況を知らせるようになって欲しい。

事故発生情報。広報に掲載せよ。母の会：井川町の場合は、有線放送で各町内毎に無事故競争をやつているそう、朝夕の食事時に各町内会母の事故発生状況を知らせるため町民には非常に関心を持たれ、仮に事故を起した場合でも町内会全体に相済まないという心情になるという具合で、町ぐるみで取り組んでいる様子がよくわかった。母の会もその点非常に活動し易いとおつた。五城目町の場合有線がないので、広報の片すみにも、町内で起きた交通事故の状況を知らせるようになって欲しい。



沢田石敏男



Sugano 克己



長尾 聖子



沢田石礼子



伊藤 清子



千田金之助

集会所に交通
ルールの図解を

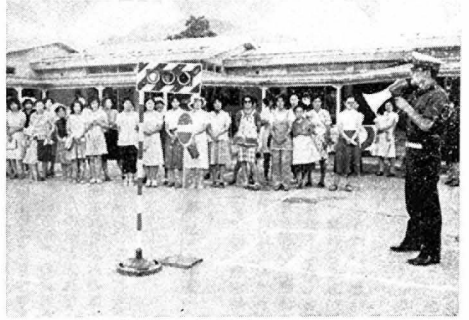
指導隊、町内の人々に交通ルールを少しでも多く理解してもらうために、特に歩行者や自転車乗りの人を対象に、各町内毎にある公民館あるいは集会所に、わかり易く書いたルールや標識、マークなどの図解を掲示したらどうか

司会 交通安全の基
本思想を普及する
意味でよいご意見
だと思ふので、町の方で配慮する
という形で検討したい問題で
ある。

このへんで済めたいと思うが
一言申し添えたい方がいたらど
うぞ。

交通安全教育は足もとから

指導隊：潮東部六カ町村の、交通
安全母の会が連絡協議会を構成
するまで成長した事を感心して
見ている一人だが、その活動が
対して一言お願いしたいことが
ある。子どもに対する交通安全
教育は足もとから、いわゆる家
庭の中から実施してほしい。母
親のしつけの一環として、家
中で一部始終説明して終るよう
な注意ではなく、実際の現場に
おいてこんな時はどうするか
何故事故が起きるのか、現場の
教育は非常に効果があると思
っている。なお子どもたちの服



おまわりさんから説明をうけるおかあさんたち

合いをするところまで効果をあ
げていきたいものである。
只今までのお話を伺って新た
な責任を感じており、わが子を
自分の肌で守っていかうとする
母の会の皆さんと、同じ目標の
もとに精一杯頑張っていきたい

司会：家庭のしつけ、学校の指導
いかによっては、交通事故か
ら未然に身を守ることに結び
つく事もよくわかったので、機会
ある毎にお願ひし、ご協力を頂
くようにしていきたい。それで
は、今晚の座談会の総しめく
りとして、小野部長さんからお願
ひしたい。

交通事故は身近で起る例が多い

小野部長：昨日も上町で、自宅前
の車の陰からの飛び出しで、ク
タシーと衝突しているが、身近

子どもたちの
悪ふざけ

事故をまねく

歩道を歩く時の子
どもたちのマナーも
非常に悪いところが
目につく、悪ふざけ
で車道へ出る、帽子
などを車道の方へ投
げ、運転者にとっ
てかなり迷惑なと
も平然とやっているの
が気になります。学
校の指導に待つとこ
ろが大きい。せめて
交通安全教育にあたって
は、母の会や警察の
方に感謝の念を持っ
たり、自然にゆずり



おまわりさんと園児の实地訓練

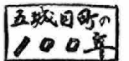
にいて事故に会う例が非常に多
い。

事故防止につながる

家庭での話し合い

一昨日も中学生が一時停止を
意り、交差点でダンプにひかれ
て死亡している。私も小、中学
生がおるの。このような時は
事例をとらえて子どもと話し合
いをするようにしている。若年
運転者の事故が多いところから
警察では若年運転者個人個人の
家庭と勤務先を訪れ、チラシを
配付して念には念を入れて事故
防止の呼びかけをしている。三
日位前にそれでも若年者の事故
があつて、父親からチラシを渡
されたも読んでいない事がわか
つた。その点先程もお話があつ
たように、家庭内での話し合い
は非常に大切だと思われる。
警察の立場から言わせてもら
えば、交通の取締り、安全施設
あるいは安全警備を地味に繰り
返して、繰り返して、試行錯誤を
しながらやる以外目標に近づく方
法はないと思われる。ひとつ今
後も交通事故追放のために、絶
大なご協力を願ひしたい。

司会：座談会はこれで終るわけだ
が、私どもは一体となつて気持
を引き締め、手をゆるめること
なくこの運動を進めなければな
らないことを、改めて肝に銘じ
たところである。長い間のご協
力を感謝し、これで閉会とした
い。



78

「市」の歴史 ③

小野 一一二

金屋座は延元三年(一三三八)九
月に、金屋五郎左衛門が弟子の藤
原園広をつれて、夜叉袋に入り、
その後久保八幡台に座を開いたの
が始まりといわれている。
その後、永禄二年(一五五九)
に歌代左衛門が、久保金屋座
に入り、鎗物生産の中心となつた親
があり、次々に名工が出ていた。
この金屋座に付随して鍛冶座もあ
つたと伝えられているが、この方は金
屋座ほどははつきりしない。
さらに天正十五年(一五八七)
八月には美濃国から五十目瓦山に
五戸のやきもの工人が集団で入り
瀬戸座がはじまつた。
この三つの座は、藤原内記秀盛
が五十目に代官として入り、新た
に砂沢城を築く以前に、すでに開
かれていた。五十目と久保は特異
な工人集団の村として発達してい
たものと思われる。新代官藤原
記は市を開くにあつて、座の存
在を十分に考えたものであろう。
藤原内記は三つの座を公認し、市
を中心とした地域支配のしくみの
中に組み入れていったものと思わ
れる。

一座はこの外に油座、線香座、
紙座などがあつたと伝えられるが
それがいつ開かれ、どこにあつた
のかわからない。ただ一つ線香座
だけは「線香座小路」の地名とな
つて、その座のおわりの頃の場所
をわれわれに今も知らせてくれる
だけである。
ところが、今まで全々知られて
いなかった座に「米座」がある。

これはこのたび町史編さん中に明
らかになつたことである。米座は
記録によると、江戸時代の元禄十
年(一六九七)十一月以前には、
久保田、湊、五十目に開設されて
いた。
秋田藩では元禄十年に米座制を
実施した所の中の一つが、五城目
であった。大きな年貢米の取
引きが行われていた事実におどく
取りきである。五城目の場合
は市をおいて外にない。
また、大きな取引きをするには
それだけの力を持つた大きな商人
がいなければならぬが、實力あ
る商人をそれまでに育てたのは、
これも市である。
中世末に藤原内記の開いた市は
百年ほどたつた江戸時代中期には
特権的な商人を育てるほどになつ
た。この米座は、五城目地域の
年貢米を集め、それを藩が払い
出して金に替える必要が設けた
ものである。
御蔵町というのは、この地域の
年貢米を収納した倉庫があつたこ
とからつけられた名前であつたこ
と米沢町というのは、米座のおかれ
ていた場所の名前であつた。御蔵
町の二つの町は、かつて市の中心
の場所であった。市は年貢米の取
められた蔵と米取引きをする米座
の前で開かれた見である。
市目での取引きがどんなに大きく
盛んなものであつたか想像できる
次回にもつと取引きのことについ
て書いてみよう。

馬場目

喜びの部落生活総合センター

完成竣工

蓬内台部落(部落長佐々木千代吉氏四〇戸)に生活総合センターが完成し、去る九月二十五日午後二時から竣工式を行なった。当日は町長、議長をはじめ部落住民ほとんどが参加新装なつたセンターからあふれんばかりであつた。

佐々木部落長から「部落住民が久し待ち望んでいたセンターが完成した。このセンターはこれまでの集会所のものばかりでなく高令者のための集居室や共同炊事調理実習室などを兼ね備えた近代

全県中学校英語暗誦大会南秋予選兼第二十八回南秋田郡中学校英語暗誦大会が、このほど五城目第一中学校で同校ほか七校の代表九名が参加して行われた。

南秋英語暗誦大会

伊藤靖子さん(五一中三年)代表に

審査に当つたシスターエマヌエルの女中(聖霊大副学長)は講評の中で「よく中学校の長が長い話しを暗誦する。楽しくきくことができた。今後の参考になる点について、正しい発音はもちろん、表現力の問題であり、全体の流れの中でど

動会、その他レクリエーションなどを計画せしめ各種の料理講座も行う大へんエニクなものである戸数四〇戸のうち三三戸まで農家、耕地面積は一戸平均水田〇・二haと小規模である。このため出稼ぎや日雇など農外労働が多く家庭における主婦の責任は大きく健康管理、家庭教育におよぶ。



完成した蓬内台部落生活総合センター

町：八郎湯町に食い込んでいけるとの道路の新設について、(八郎湯町では、リッパな道路をつくっている。)

町：工費が約一万九千円でうちろを部落から負担してもらう建て前になつている。あとで財財課から相談に行く。

工藤泉さん(五一中三年)と「サイレントリナイト」の渡部たくさん(大瀧中三年)が選ばれた。また佳作賞は「ザストリーオブジョーハンジロウ」をテーマにした佐々木潤子さん(杉沢中三年)ほか五名がなつた。

また流ちょうさはよいが演劇でないので表現の仕方が余りオーバーだとした。発音は母音、二重母音の調整をまちがわず正確できめの細かい発音が必要だ。

町：野田農道は一一〇〇mの延長に総事業費五三二一万円を投じて着工している。四十九年度は五〇〇万円用地買収など物件補償を行い、五十年度は物件補償のほか二七mの道路を整備した。

町：森山地区に運動公園をつくってほしい。



おしらせ

秋の農作業 協定賃金決る

ことし秋の農作業協定賃金表(別表)が決まった。

六十年ぶりの冷害気象で各農家はたいへんな気苦労である。

秋の農作業中は、コンバイン、バインダー、ハーベスターなどの機械に充分注意され、事故のないようにしたいものである。

昭和51年 秋期農作業協定賃金表

作業名	金額		備考
	男	女	
稲刈り	3,800	3,500	1日当り
	東刈り	40	東当り
コンバイン	6,300	6,800	10a当り
	12,000	12,500	10a当り
脱穀機	5,000	5,000	10a当り
	5,500	6,000	10a当り
乾燥機	500	350	10a当り
	450	450	10a当り
雑・畑作業	3,800	3,500	1日当り
			1日当り

・1日8時間労働 贈なし
・使用農機具には運転手付とする。



雨の日ご注意
釜の中は目隠し
しるす向肉

「行政相談所の開設について」

行政管理庁では行政に対する苦情の相談制度について広くみなさんに理解と認識を深めていただくため、全国いっせいに、来る十月十七日(日)から二十三日(土)までの間「行政相談週間」を実施する。

みなさんが、つねひろいだいでいる役所の仕事について困っていること、

納得できないこと、

希望すること、

などについて、「無料」で「迅速」に、かつ「秘密」を守り親身に相談に応ずる。

この週間に当地域担当の行政相談委員が下記の日程で相談に応ずる。

●十月十九日
午前十時から午後三時まで
大川出張所会議室

●十月二十日
午前十時から午後三時まで
富津内児童館

●十月二十一日
午前十時から午後三時まで
行政相談委員 長谷川 豊

行政相談とは、例えば年金、登記、社会労働保険、生活保護、環境衛生、農地、郵便、道路、河川交通、公害、公営住宅、教育、国鉄、電話、専売、公庫等の業務についての相談である。

善意ありがとう

●マクラカバ ザブトンカバ

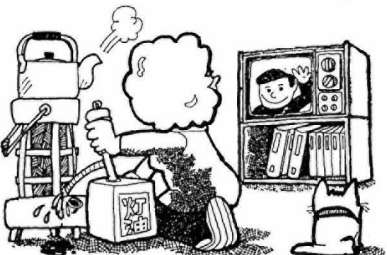
五城目高校家庭科
(代表畑沢裕子ほか十二名)

●花(きり花)

富津内 小玉不夫さん

●ソドウ、菓子

浅見内 猿田貞子ほか三名



五城目観釣同好会会長金子光吉
火をつけたままの給油は
とても危険です
・ヨソ見をしながら給油しない
・火の元を切つて、安全をたしかめてから給油する。

雀館運動公園施設の開放状況

～開放状況～

雀館運動公園の町民センター広域体育館が完成してから、約十ヵ月(今年になって六ヵ月)になりました。これまでの利用はなかなかさかんで、現在までの利用実人員九八・九九〇人、今年度になって(五四・一八三)人となった。

昨年十一月からの利用者数は本町人口の約五・五倍(今年度になって約三倍強)になっている。開設当初は利用手続きがめんどうだとか、使用料金が高いなどの声もあったが実際利用してみるとかならずしもそうでないことが理解されている日が多いので、今後更にその利用が増大していくものと思われる。

以下その主な内容をあげてみる。

●町民センター

区分 男 女 計

・前 三四八 五五〇 八九八

・後 六三三 六六〇 一二九三

・夜 一五五 五三 一六八

計 男 女 計

一〇九六一 二六三二 三三五四

●広域体育館

区分 男 女 計

・前 三八〇 四一三 七九三

・後 二、〇三〇 二、六八二 計 四、七二二

●雀館公園		●合計	
午前	午後	男	女
五、六三〇	二、一三〇	二、〇〇〇	
前 六、四七八	五、二七七	計 一一、七五五	
後 一、三四一	一、三、五九三	計 二七、〇〇九	
夜 八、三一七	一、〇八	計 一五、四一九	

さきごろ上山内小林春雄氏が公民館を訪れ、ご尊父小林源四郎氏の香典返しとして、図書費に役立ててほしいと十万円を寄附した。公民館ではその特志に感謝し早速児童生徒向けの図書を購入することに決めてただ今発注しているところである。

オリエンテーリング開催決まる

来る十月十一日(月)午前九時三十分から秋田県野鳥の森(岩手山保全林)で昭和五十二年度全町オリエンテーリング大会並びに講習会が開かれる。

オリエンテーリング(直訳、新しい環境に適應させること)は野や山の自然に親しみながら歩いたり走ったりで体力向上をはかる健全なスポーツレクリエーションである。体力つくりが叫ばれて久しい。日本の経済は高度成長した結果結果いろいろな分野にヒズミが生じているその最大のものは環境公害だが、からだもそのひとつである。

物質が豊かになり生活の合理化が進むと人のからだは運動不足による健康は多くなるといわれる。健康は人が生きていくための基本的なもの。

こうしたことからオリエンテーリングというスポーツが生まれた。これは、地図と磁石を用いて一定の時間でチェックポイントを探し、あうみで地図の読み方、磁石の使い方がわかれば、歩ける人なら誰でもできるスポーツである。

期日 十月十一日(月)
場所 秋田県野鳥の森(岩手山保全林)
時間 午前九時三十分集合

対象者 町民の方どなたでも参加できる。(家族づれ歓迎)
持ち物 昼食、運動できる服装、筆記用具、雨具、その他
講師並びに指導員 五城目町オリエンテーリング指導員、体育指導員出羽山岳会、公民館職員
詳しくは 公民館(電話四一四一)へ